

平成22年度 留学生ホームステイ
思い出の文集

財団法人新潟市国際交流協会



日 程 表

7月24日(土曜日)

場所：クロスパルにいがた

午後1時30分 対面式、諸連絡、記念撮影

午後2時 各ご家庭へ

7月25日(日曜日)

午後3時 各ご家庭にて解散

14家庭19人の留学生(6カ国)で行いました。



「Homestay In Niigata」 チンウィーパース ネータポーン(タイ)

今回初めてホームステイプログラムに参加し、また、日本の家に泊まることも初めてでした。たった一晩だったけど、ホストファミリーと楽しく過ごすことができ、とてもうれしかったです。

私は、中国の友達と「五十嵐あいこ」さんの家に泊まりました。

最初の日、あいこさん家族から暖かく迎えられ、夕食にすしをご馳走になりました。それから、浴衣を着てみたけれど、自分で浴衣を着るのは難しかったです。でも浴衣を着て日本人のようになって、あいこさんにはとても感謝しています。

2日目は、家の近くのお寺に行って、すいか割りをしました。おもしろかったです。

このプログラムから、日本の生活や日本の文化をたくさん学びました。このプログラムを開催してくれてありがとうございます。

でも2泊できると、もっといいなぁと思いました。



「楽しいホームステイ」

キン シン
金 鑫 (中国)

2010年7月24日、ホームステイの日でした。朝から心がずっとはずみました。二日だけど、初めて日本人ともっと近い距離に触れて一緒に生活するからです。

7月24日午後早く到着しましたが、もう人がいました。私のホームステイの家庭は、五十嵐愛子様の家です。愛子さんは、優しいおばさんだと思いました。母のようで大好きです。

またタイのプレーンさんと一緒に愛子さんの家に行きました。親切な人でした。

愛子さんは一人で住んで寂しいと思いました。でも、愛子さんは「寂しくない。」と言いました。「たくさん仕事をして、生活がとても充実している。」と言いました。愛子さんの家はとても広くてきれいです。愛子さんは10年くらい前、先生でした。話してわかりました。本当にえらいです。みんなでおしゃべりしたり、食事を作ったり、おもしろかったです。愛子さんは中華料理を作りました。海老チリソースとってとてもおいしかったです。タイの友達も好きだと言いました。本当にうれしかったです。

食事のとき私は初めて日本酒を飲みました。好きです。特に枝豆と一緒に飲んだ時おいしかったです。食べてからみんなでおしゃべりしました。夜、一番おもしろかったことは着物を着たことです。愛子さんは着せ方がとても上手だと思います。やっぱり着物はきれいです。私は大好きです。

次の日、私たちは大栄寺へ行きました。スイカ割りをして遊んでおもしろかったです。初めての日本のゲームでした。寺で座禅を組んで、新鮮でした。また寺のおぼう様と友だちになりました。美しかったです。

このホームステイでは初めてしたことがたくさんありました。そして日本人の日常生活が少しわかりました。たくさんおもしろいことがありました。とてもよい思い出となりました。愛子さんに感謝します。

ファン テ テュ フォン
PHAM THI THU HUONG (ベトナム)

はじめまして、ベトナムから参りましたフォンと申します。日本に来てから、1年たっていません。日本での生活はわからないことがいっぱいあり、心配することもあります。毎日楽しみにしています。日本についての印象と言え、日本人のやさしさを述べたいです。迷った時、周りの人に聞くと、行きたいところまで連れて行ってくださることもあります。

今回のホームステイを通じて、もう一度このやさしさを深く感じました。私が泊まったのは岩橋さんの家です。家族が5人、みんな優しいです。(私のホームステイの時、まだ東京で勉強している女の子もいましたが、写真や家族の話によると、活発な人だと思います)。最初にあったのはお母さんと娘さんでした。初めてベトナム語で「こんにちは」と言ってくれてびっくりしました。家にベトナム語のいくつかの言葉が書いてある紙を貼って、一生懸命暗記したそうです。本当に感動しました。

クロスパルにいがたから岩橋さんの家に帰る途中で、シティタワー新潟に寄りました。高いところから遠く見ると、目の前にとてもきれいな海がありました。互いに話すうちに、対面の前の緊張はなくなりました。その日、私の好きな水族館に連れて行ってもらい、とてもよかったです。

夜、すごくご馳走になりました。楽しい時間を作ってもらって、ありがたかったです。食事した後、みんな集まり、ゲームをやりました。楽しかったです。日本に来てから、久しぶりに家族の雰囲気を感じて、よかったですと思いました。

次の日、ヨガに行きました。ベトナムにいる時、一度ヨガをやりたいのですが時間を取れなかったので、参加できませんでした。お母さんが誘ってくれたので、喜んで行きました。場所はお寺みたいに落ち着いたところですのですごく気持ちよかったです。5時くらい、私は約束がありましたので、帰りました。帰る前にアルビレックスのサッカーを見に行く約束をしました。(私はサッカーの大ファンですので、岩橋家族もサッカーが好きなことを知り、うれしかったです)。

7月31日約束通り、サッカー場でお父さん、お母さんと会いました。ベトナムのサッカー場とだいぶ違い、面積は広がったのに、人で一杯になりました。とてもにぎやかで熱い雰囲気でした。岩橋さんがやっぱりサッカーの大ファンですので、全力でチームを応援しました。私もアルビレックス新潟のファンになりました(^ ^)。是非また見に行きたいです。

いろいろ話したいですが、日本語の能力に限りがあり、私の感情を言い表すのは難しいですが、本当に、暖かくしてくれて、岩橋さんの家族に感謝します。

それに、日本人の生活、文化がわかるように、留学生と日本人との交流をサポートするととても良い活動を作ってくれた新潟国際友好会館にも感謝します。

今後ともよろしくお願いたします。



閻 安然(中国)

ホームステイに参加させていただいて、ありがとうございました。ホームステイを体験し、いい思い出を作ることができました。

私は今、日本に留学していますが、生活は国(中国)にいるときと大きな変化はありませんでした。自分の思うまま、生活をしています。

日本人はどんな生活をしているのだろう、日本人は晩ご飯を食べるとき、どんな雰囲気だろう、その一軒家はどんな形なのか、ずっとこの目で見たかったです。

近藤さんは大変いい人でした。ホームステイの時、あまり時間がなかったのは残念でしたが、それでも充実していました。温泉にまで連れて行って、たくさんの人と会わせてくれたので、良い友だちができて喜んでます。

また、近藤さんの娘さん夫婦にもお世話になりました。おいしい食べ物と飲み物をいただきながら、「ONE PIECE」を見たのは大変幸せでした。

ホームステイに参加したこと、良かったと思います。

近藤さんの家族のみんなさん、これからもずっと幸せに！



「ホームステイ」

周理媛(中国)

ホームステイは1泊2日でした。午後新潟国際友好会館からスタートし、クラスメイトの王雪潔さんと同じホストファミリーです。

迎えに来てくれたホストファミリーの真希さんとバスで彼女の家に行きました。到着後、すぐ妹さんが帰ってきました。みんなでたくさんのお話をし、6時ごろ足湯に行きました。とても気持ちよかったです。8時ごろ、彼女の両親が経営しているラーメン屋に行って、ラーメンを食べました。おいしかったです。夜、ご両親が帰宅し、王さんと一緒にお土産を渡しました。

翌日、朝食後浴衣を着て、真希さんが運転する車で北方文化博物館に行きました。写真を撮りたくさん撮りました。そこで、同じ学校の先輩に会い、先輩のホストファミリーが家に誘ってくれたので、一緒に遊びに行きました。その後、真希さんの家に戻り、4時ごろ、ご両親とお別れをし、妹さんと一緒に車で私たちを家まで送ってくれました。今回のホームステイはとても楽しかったです。



「私の1日」

王 雪潔(中国)

7月24日、太陽がきらびやかで気持ちのいい日でした。午後1時半、クラスメイトと一緒にクロスパルにいがたに行きました。

ホストファミリーの真希さんはとても温厚でかつ古風な女性に見えました。お互い簡単に自己紹介をし、江南区行きのバスに乗り、目的地は分かりませんでした。500円も払ったので、“近くではない。この幸運の旅は楽しみ！”と思いました。

5時ごろ、真希さんの家に着き、ドアを開けた瞬間、とても元気よく、かわいいわんちゃんの熱烈な歓迎を受けました。名前は“サリ”すぐに大好きになりました。

まもなく、きれいな女性が帰ってきました。とても不思議に思いました。資料の家族構成のところでは3人としか書いてないのに、この人は誰だろうと思いました。真希さんがすぐ紹介してくれて、妹さんだと分かりました。もう一人、弟さんがいて、今東京にいるそうです。“5人家族なんだ。お土産を多めに持ってきてよかった。”と心の中で思いました。

8時ごろ、真希さんのご両親が経営するラーメン屋に行き、4人で夕食を食べました。そこで、初めてご両親に会い、とても親切な人たちだという印象を受けました。ご両親は仕事のため、私たちは先に家に帰り、中国から持ってきたトランプで一緒に遊び、とても楽しかったです。

夜11時ごろ、ご両親が帰宅し、少し話し、お土産を渡しました。お父さんにミニ盆栽。名前は涼雲と言い、パソコンの近くに置くと電磁波を防ぐことができ、健康にとってもよいものです。中国特産の西洋人參はお母さんにあげました。滋養補給の効果があり、女性にとってもよいものです。真希さんたちにはお菓子をあげました。気に入ってくれたらうれしいです。

二日目、日射しが強く、相変わらず暑いです。10時ごろ、真希さんが朝食を作ってくれました。ご両親はすでに仕事に行き、家の中は3人だけでした。朝食後、浴衣を着せてくれました。和服と違うところもあり、結構時間がかかりました。

遊びに連れて行ってくれるということで、ウキウキしていました。午後1時ごろ、北方文化博物館に行き、入り口でチケットを購入する時、スタッフが「浴衣を着ているから、半額の500円でいいよ」と言ってくれました。払いながら、“こんなこともあるのだ”と不思議に思いました。少し進むと急に真希さんが呼び止められ、浴衣を間違えて着ている。と言われ、トイレで、直してもらいました。時間をかけて着せてもらったのに、間違いなんて。

気温も高く、暑かったので、かき氷を食べようと店に入りました。そこでまた店員さんに、浴衣が間違っていると言われ、もう一度、直しました。真希さんは申し訳なさそうに、「今日は本当にすみません。何回も着直させてしまって。」と謝りました。

ラーメン屋で働いているご両親に別れと感謝の言葉を伝え、5時ごろ真希さん姉妹が車で私たちを送ってくれました。

家に帰り、夕食を作り、食べながら“これが日本のホームステイか、日本人の家庭に滞在して、日本と中国は生活習慣の違いが多いな”と感じました。

私の1日、私のラッキーな出来事、これで体験終了。

陳 峰 (中国)

先日、大勢の人の中からホームステイに参加できました。うれしかったです。ラッキーボーイになったと思いました。

最初、知らせをもらったとき、信じられなかったです。胸がドキドキしました。これからどうしようと心に聞きましたが、全然わからなかったです。

アルバイト先で、一緒に働いている日本人に聞いたら「日本人の家では騒がしくないほうがいい。」と教えてもらいました。聞いて安心しました。そんなことは私もあまり好きじゃありませんから。

いよいよその日がついにきました。みんなと一緒に集まったとき、ちょっと緊張していました。落ち着かなくなりました。でも、自分の思ったこととは全然ちがっていました。一緒におしゃべりしました。家族は4人でとてもおもしろいし、親切な人です。

お父さんはユーモアがあり、ハンサムで、趣味は写真だと思います。いつもカメラを持って、いっぱい写真を撮りました。私はいろいろなところへ連れて行ってもらいました。とても楽しかったです。

お母さんは優しく、料理が上手です。いろいろな国の料理が作れます。また食べたいです。たのしみにしています。

娘さんと息子さんはまだ学生です。娘さんはきれいで、優しく、いい学生です。一緒に遊んだとき、とても楽しかったです。

息子さんには会わなかったです。ちょっと残念なので、電話をかけました。声を聞いて、いい人だと思いました。そして、東京の大学で勉強しています。うらやましいです。

一緒に2日間だけ生活しましたが、とてもたのしかったです。今度またいつかかならず伺いたいです。その経験はたぶん一生わすれないと思います。いろいろお世話になりました。ありがとうございます。



「ホームステイに参加して」

葉 えいりん(台湾)

今回のホームステイに参加して、とても楽しかったです。一番印象に残ったのは、ホストファミリーの皆さんがとても親切にしてくれたことです。

最初、とても心配していました。なぜなら日本語を話せなくて、コミュニケーションができないと思っていたからです。しかし、ありがたいことに娘さんのあさちゃんがいつもゆっくり、丁寧に話してくれました。

また、詳しく説明してくれるだけでなく、お父さんが話した内容をもう一度話してくれたり、お父さんに「早くしゃべると聞き取れないよ。」と言ってくれたりしました。みんなに迷惑をかけて、申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、いろいろとやさしくしてくれて、本当にうれしかったです。

夜、一緒にカラオケに行きました。私にとって年上の方と行くのが初めてでした。あさちゃんのお父さんとお母さんは本当に気さくで、楽しい人でした。だから、気兼ねなく、一緒に楽しむことができました。2日目は弥彦神社に行きました。

この1泊2日は、短い間でしたが、日本の家庭生活と日本人の良さを感じることができました。



苑 美娟(中国)

今回のホームステイを通して、日本の家庭生活を体験し、日本式の庭園も見ることができました。庭では田中さん家族と一緒にお茶やお菓子を頂きました。その後、とてもおいしい料理を食べました。

翌日、田中さんがとても綺麗なところに連れて行ってくれました。そこには、ワイン窯やガラス工場がありました。また高級レストランにも連れて行ってくれ、日本に来て初めてごちそうを食べました。その後、きれいな海岸に行き、とても楽しかったです。

あっという間に時間が過ぎ、別れはとても辛く、もっと時間がほしいという気持ちでいっぱいでした……。

田中さん家族が私たちに良い思い出を与えてくれて本当に感謝しています。日本での良い思い出になりました。

またこのような活動にも感謝しています。日本での生活を豊かにし、良い思い出を作ることができました。

「ホームステイの感想」

董婷婷（中国）

来日する前から、日本の家庭を体験したいと思っていました。日本の文化に親しみ、時間をかけて日本の習慣を学びたいと思っていました。

しかし、実際はうまく行きません。日本式の住宅に住んでいても、中国料理を食べ、中国語で話し、中国にいる時と変わらない生活を送っている事を、ちょっと残念に思っていました。

そんなとき、ホームステイができる機会があり、すぐに申込みました。と同時にとても心配になりました。なぜならクラスメイトの多くが申込みをし、選ばれるかどうかとても不安になったからです。ずっと心配して待っていました。しかし幸運なことに私は選ばれましたが、今度は緊張の日々が始まったのです。

待ちに待ったホームステイの日、用意したお土産を持って、クラスメイトと一緒に新潟国際友好会館に行きました。そこには多くの学生とホストファミリーが集まっていました。私はホストファミリーがどんな家庭か、奥さんはどんな人かなどいろいろなことを想像しながら待っていました。

対面の時間になり、学生たちが次々とホストファミリーの方について行くのに、私たちの番はなかなか来ません。仕事の関係で少し遅れることが分かりました。みんながいなくなっても依然緊張しながら待っていると、15分後に来ました。

ご夫婦はとても温厚で、親切で、気さくな人たちでした。

家に行く途中、夕食の食材を買いに、スーパーに寄りました。その時、どんなに安くても、多くは買わず、食べる分だけを買います。これは、とても勉強になりました。

家に着き、お土産に持参したお菓子を食べながら、あまり上手でない日本語で話しました。奥さんが夕食の支度のため席を離れたので、私たちは息子さんと遊びました。彼はとても利口で、日本のトランプとチェスの遊び方を教えてくれました。幼いけど、お父様の影響で英語がペラペラです。

お父様は海外の仕事が多く、英語がとても上手です。中国も大好きで、中国語も少し出来るそうです。もう退職され、旅行好きなお父様は、時間があると、家族で海外旅行に行くそうです。そういうこともあってか、家はシンガポール風で、とてもきれいです。私たちは夜遅くまで話をしました。

翌日、本格的な日本式の朝食を食べ、その後、近くの神社へ散歩に行き、戻ったら、お父様がワイン作りを見に、ブドウ園へ行こうと誘ってくれました。うれしくて、車の中でも上手でない日本語でずっとしゃべっていました。そして、きれいなブドウ園に着きました。そこにはブドウ酒作りに必要なものがたくさんあり、どれもすばらしかったです。西洋風のレストランも何軒かあって、迷いに迷って一軒の店に入りました。最後は、車で私たちを新潟国際友好会館まで送ってくれました。

こうして、ホストファミリーと過ごした2日間が終わりました。

短い間でしたが、いろいろなことを学び、思い出はとても深く、大切にしたいと思っています。今回のホームステイを通して、改めて日本に来て、良かったと思いました。



李京坤（中国）

日本にいる外国人にとって、日本での経験の一つ一つが大切なことだと思っ
ているのでホームステイの参加を決めました。去年も申し込みをしましたが、行け
ませんでした。友達が楽しそうにしていたので、私もホームステイに参加したい
と強く思いました。今年の申し込みが通って、私はやっとホームステイに参加す
ることができました。

招待状を開けたとき、私を驚かせたことは、私が行く家庭は8人家族です。こ
れは今の中国でとても珍しいです。ですから、私はこの8人の家族の生活を見
たいと思いました。

ホームステイの当日、私達はクロスパルに集合しました。みんなの中で私は
一人のおばさんとだけ挨拶をしました。係員が中村敏さんと李京坤さんと言っ
たとき、私達は立って顔を合わせました。相手を見て、私と中村さんはびっ
くりして笑いました。中村さんはその私と挨拶をしたおばさんでした。彼女
は優しくそうで、私の母のようでした。私達は彼女の主人を待つ間、たく
さん話をしました。私はこの家族のことについて少しわかりました。この家
族はとてもすばらしい家族だと思いました。

ご主人は新潟聖書学院の院長です。アメリカに留学したことがあって、また
十数か国へ行ったことがあります。彼の影響の下で、家族はすべてイエス・キ
リストを信奉しています。奥さんはとても優しい主婦で、英語もしゃべりま
す。一番目の娘さんもアメリカに留学したことがあって、かつて遊覧船（ド
ウロス号）で働いて、多くの国に行ったことがあります。中国にも行ったこ
とがあります。二番目の娘さんは国費で、中国の南京大学に一年留学しまし
た。中国語が上手です。三番目の息子さんはすごくて、東京の有名な会社
に就職していて、来年辞めてアメリカに留学します。将来は国連に入りた
いそうです。三人の子どもはすべて優秀です。彼らと比べて、私は恥ずか
しく感じます。将来の私が彼らより更に優秀になることを望みます。

この家族は私に対してとても親切でした。私と会話するだけではなく、中国
語ができる近所の人に雑談しに来てもらいました。お孫さん達はとても可
愛くて、私と仲良くなり、鬼ごっこをして遊んだり、花火をしたりしまし
た。

翌日、私が離れる前に、奥さんは私にたくさん激励の言葉を言ってくれま
した。その時、涙は私の目の中でずっと回転しました。ご主人は私に一冊
の新約聖書をプレゼントしてくれました。

今度のホームステイは私の幸せな思い出になります。私は永遠にこのすば
らしい家族を忘れることができません。彼らの永遠の幸せを祈ります。



「ホームステイの感想文」 トゥムルホヤゲ ウーガンザヤ(モンゴル)

この度、新潟市国際交流協会で留学生のための1泊2日のホームステイに参加することができました。

初めて日本に来た私にとって、日本の家庭で日本人と一緒に過ごすことをとても楽しみにしていました。来日間もない私には親しい日本人の友人まだなく、そのため少しでも寂しい気持ちを和らげようと、モンゴルの食べ物を食べたり、モンゴルにいたときのように過ごしていました。

そして、今回のホームステイを通して一番知りたかったことは、「日本の家庭の食卓はどんなふう?」、「食後はどのように過ごすの?」、「夜は何時に寝て、朝は何時に起きるの?」、「家族がそれぞれの部屋に入り、何をやるの?」などなどとても興味深く思っていました。

モンゴルに居るとき、外国の方がモンゴル人の家庭を訪問するのを見たことがありますが、何がそんなに不思議なのだろうと思っていました。しかし、今、自分が外国に来て留学し、今回、ホームステイという貴重な経験をさせてもらうことができその気持ちが分かりました。

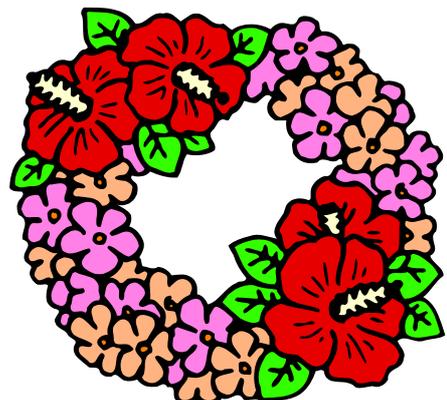
今回、とても驚いたのは、お母さんが食事の支度から後片付けまで全部を一人で行うことでした。モンゴルではお母さんが食材を用意し、子どもに教えながら、子どもが作るのを見守るだけ、家族の食事は子どもたちが作ります。もちろん、お母さんも作りますが、後片付けは子どもかお父さんがします。家族がそれぞれ出来ることを協力します。

そしてもう一つ驚いたのは、結婚についてです。日本では結婚する時「嫁入り」と「婿入り」があります。「嫁入り」は普通に理解できましたが、「婿入り」はモンゴルでは聞いたことがなく、日本で初めて知りました。子どもが女の子ばかりで、名字を残すために婿を取り、その子孫に名字を継がせるためだそうです。

私もモンゴルについていろいろ話をしました。そして、何よりホストファミリーのお母さんがモンゴルの紹介本を買って読んでいるとのことが嬉しかったです。

皆さんもモンゴルについて少しでも興味を持つことが出来たならば幸いです。

ありがとうございました。



「2人の可愛い看板娘」

五十嵐 愛子

田舎を貫く1本道、その中間あたりに我が家五十嵐商店があります。そこへ可愛い2人の看板娘がやってきてくれました。

イラッシャイマセー!! アリガトウゴザイマシター!! わずかな時間でしたが元気なカタカナが店内に響き、オメサンナテ ドッカラキタンネェ 彼女らには未知の国の言語のような新潟弁、矢継ぎ早におばさんたちの口が騒ぎます。

ココントコニイッカトマランネ。 ソンゲコトユウタタテ ナニワカロバネェニホンゴ バアカ ジョオーズダネッカネ・・・すると2人、アア~~~~ ワタシ ニイガタベン ワカラナァ イ!! そばで言葉のキャッチボールを面白がっている私。どこの国に行ったらイッチャン面白いのは人間だてえ。日本の言葉を覚えたかったら日本人の恋人をつくりなさいよと私は2人にアドバイスした。何たって私の方がずっと年長さんだからね。しかし、2人の愛娘を仕込むには時間が足りません。せめて1週間。

朝の雑巾がけから始まって夜の蚊帳吊りまで・・・とはいかなくても1泊だと“お客さん”になってしまっていて、あーしても、こーしても遠慮がちになってしまうのではないだろうか。

さてさて店番をしたその晩はうちわ片手に浴衣を着てしっとり鏡に写った自分にうっとり、世界中の女性たちよ、いつも charming であれ!

タイのプランさんは得意のヨガのポーズを披露、そのしなやかさは身体だけではなく気配りにもにじみ出ており、日本の男性にはモテモテ間違いなし。

中国の金さんは電子辞書を持参しての勉強家で、この夏の炎天下でも沼垂から国際エア・リゾート専門学校(古町)まで自転車通学という頑張り屋、“大陸の人”と思わずにはいられない。

そして2日目はお寺で朝の座禅から始まり、寺の坊さんと近所の子どもたちを交えてのスイカ割り、地元の北方文化博物館では他の2組のステイメンバーにバツリ、「じゃあ、私んちこいて。」ということになり女性6人となぜか坊さんがひとり、ワチャワチャ、ガヤガヤの五十嵐家でした。

プランさんも金さんもあと4年間は新潟人ということなので、また遊びに来てください。

よろしければあなたもどうぞ!!



「楽しい時間をありがとう」

岩橋 ひろみ

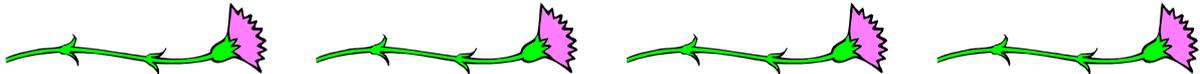
我が家にはベトナムの「PHON^{フオン}」さんという可愛らしい女性がやってきました。日本語が上手に話せる上、漢字まで読めるのには驚き、一緒に過ごす中で困ったことは何もありませんでした。

限られた時間の中、日本海タワーやマリンピア、近くの海まで犬の散歩、ヨガ教室と一緒に体験など楽しい思い出づくりができました。

ベトナムのこともたくさん教えてもらい、いつか訪れてみたくなりました。

後日、アルビレックスの応援に行ったり、私の勤務先に顔を出してくれたりと交流が続いています。

フォンさんは「新潟の人が大好き」と言っていました。卒業まで、またたくさんの新潟の良さを発見できるとよいですね。



佐藤 京子

我が家に韓国からかわいらしい女の子がやってきました。

アンニョンハセヨ^{イデウシ}

韓流ブームで、ドラマや旅行にすっかり夢中になってしまった私、テレビを観ながら、あのハングル語が理解できたら、字幕なしでドラマを観ることができるのかと、安易な気持ちでハングル講座にも通い始めた。少しでも覚えると今度は話し相手が欲しくなり、韓国に旅行すること十数回。そして韓国文化を知ることになり、だんだん^{イデウシ}と面白くなってきた。そんな時、国際交流があることを知り、即座に申込み、^シ

が我が家に来てくれることになり、とても親近感を覚えました。当日夕食後、彼女に浴衣を着せ、町内のお祭りに連れて行きました。初めての着物姿がとても似合っていてすてきだと思いました。

翌朝は早朝5時、まだ眠い彼女を起こして、日頃なかなか体験できない事をしてもらおうと思い、枝豆で有名な黒埼の農家に連れて行き、わずかな時間だけど選別の体験をしてもらいました。少しでも日本の文化を知り、そして体験することができて、彼女も喜んでくれました。

二日目あまり時間もなかったなので、遠出することもできず弥彦神社に行ってきました。弥彦の芸妓さんたちが山車を引く様子を見ることができましたが、夜の燈籠祭りを見せてあげられなくて少し残念に思いました。

私には一泊二日の慌ただしい時間でしたが、とてもいい思い出になりました。そして毎年日本に来る留学生を少しでも多くホームステイできるよう応援したいと思います。

北野 明男

ホームステイは初めての経験で、家族全員で緊張しながら参加させていただきました。普段は外国の方とお会いする機会もなく、不安もありましたが、とても貴重な経験ができました。

料理を出したときは嫌いなものはないかと不安でした。でも、とてもキレイに食べてくれて嬉しかったです。

それに、優しくて楽しい方だったので、子どもとも仲良くなれましたし、一緒に花火をしたり、1日という短い時間でしたが、とてもいい経験にもなりました。

楽しい1日を過ごせたと思います。ありがとうございました。

**近藤 衛**

中国からの留学生「閻 安然」さんのホームステイに協力した。

部屋は良いか、寝具は良いか、どんな食事にしようか、どんな話をしようか、どこに連れて行ったらよいか?・・・等等色々と考えはしたものの要は本人に会ってから、本人の希望・好みを聞いた上でとあまりかしこまることもなく、緊張することなく久しぶりに会う遠い親戚の息子を迎えるがごとくごく自然に接することができた。

これも言葉に苦労もなく話ができたし、本人も緊張することなく喜んでこちらの対応に答えてくれたからだと思う。

夕方、ちょっと遅くなったが、近くの「天寿園」に行ってみた。中国の大公園、大庭園から見れば全然問題外なのだが、すこしでも母国の雰囲気、ムードを感じてもらえたらと、ここ新潟でも中国ファンが居りますようにも感じてもらえたと案内した。

たまたまその日の夜は町内の納涼祭があり、近所の公園いっぱい子どもたちが主に人が出ていた。私の孫も参加していたが爆竹がないこういった集まり、彼氏にはどのように映ったか。感想は聞きもらした。

翌日、本国では海にはほど遠くあまり縁がなかったということで、それでは日本海を見て温泉に入ってこようと私の生まれ故郷でもある村上、笹川流れへとドライブした。

村上の私の知人宅には村上中高一貫校に留学している中国からの女生徒がホームステイをしており、面会してもらった。ドライブにも誘い、車中でも何か御両人楽しそうに会話していたが、私には詳細は分からない。彼氏ももちろんだが彼女もビックリしただろうが思いがけないひと時だったのではあるまいか。昼飯前は瀬波での温泉気分は如何だったか?

3時のお別れ時刻があっという間に来てしまった。たった1日間のお付き合いだったが、私も楽しかった。この些細な経験がこの先どんな風に広がっていくか楽しみでもあるし、ぜひとも自分の大きな希望にまい進してもらいたいと祈らずにはおられない別れでもあった。「一期一会」という日本の格言が彼氏の国でもあるのかどうかは聞きそびれたが・・・。

「我が家にまた1人、家族が増えました！！」

佐原 仁

我が家の家族がまた一人増えました。ご紹介します。彼の名は「陳峰くん、若干二十歳、日本語はチョウ完璧、将来の夢は車のエンジニアになること、来年4月からは千葉の学校に進学する」という我が家の自慢の息子です。

我が家は4人家族ですが、2人の子どもは県外の大学に通っているため広い家には夫婦2人だけ、そんな時に今回の話を耳にし応募した次第です。

しかし、2人とも仕事が忙しく説明会には参加できず、あげくは対面式にも遅刻をする始末、事務局の方には大変ご迷惑をお掛けしました。何より陳峰くんにはとても不安な思いをさせてしまったことを今でも申し訳なく思っています。その分、私たちの精一杯の愛情で接してあげたいと心に決めていました。前日まであれを食べさせてあげよう、あそこに連れて行ってあげようなどと考えれば考えるほど思いは募るばかり。冷静に考えれば彼の滞在期間はわずか24Hほどしかありません。遠くに行くより近くで遊んで、たくさんの会話が出来れば心のふれあいは十分と考えられるようになり当日に望みました。

彼は私たちが想像していた以上の好青年、何より感心したのは故郷に残してきた両親への強い愛情でした。彼は“エンジニアになるまで中国には帰らない”と。自分の成長が両親への最大の親孝行であることを知っているのです。我が子に爪の垢でも煎じてあげたい気持ちでした。また私達のことを“お父さん、お母さん”と呼んでくれ、思わず“ハグ”してしまう場面も。たった1日でここまで絆を深められることに彼との出会いの不思議さを感じました。

陳峰くんなら必ずや社会で活躍できるエンジニアになれること受け合い！私達家族もしっかり祈っています。機会があれば逆ホームステイをしてみたいと思います。

これからはアジア、中でも中国の時代と言われる中で正にその最先端を経験させていただいた事に協会の皆様方に感謝しています。次回も是非応募したいと思っている1人です大変アリガトウゴザイマシタ

“息子よ、いつでも遊びにおいで” シェイシェイ



「ホームステイを終えて」

高桑 麻

今回、このような事業に初めて参加させていただきました。ありがとうございました。すごく良い経験になり、改めて国際文化についてももっと知りたいと思いました。

今回ホームステイを受け入れた理由は、私が海外に留学した時にホストファミリーが本当の家族のように受け入れてくれたので、私たち家族も留学生が来たら本当の家族のように受け入れたいと思ったからです。

私の家には台湾から来た「葉」さんというかわいい女の子が来ました。私たちは初対面の時、お互い恥ずかしそうに自己紹介をしました。でも、恥ずかしかったのは最初だけで、数分で話が盛り上がりました。お互い年も近かったのでニックネームで呼びあうことにしました。

家に着いてからはずっと話をし、台湾のこと、にょにょの家族のこと、友だちのことなどいろいろ教えてくれました。にょにょはすごく日本語が上手で本当にびっくりしました。夕食後、祖父の家に行き、その後、みんなでカラオケに行きました。日本の歌を歌ったり、台湾の歌を歌ったりと本当に楽しかったです。次の日は弥彦神社に行きました。

本当に2日間じゃ足りないくらい楽しかったです。今でもにょにょと連絡をとっています。近々、一緒にご飯を食べる予定です

ちなみに、私の両親も最近は全く外国の方と関わるのが少なくなったので、「すごく良い経験だったね!」とっていました。

「ホームステイに参加して」

中村 敏・明美

今回、ホストファミリーをし、とてもよかったですと思います。以前もホームステイを受け入れ、フィリピンの青年を通して良い経験をしました。

今回受け入れた中国人留学生は、将来の夢を持っている、良き青年でした。一泊二日の短い滞在でしたが、色々語り合うことができました。かつてクラーク大佐は札幌で「青年よ、大志を抱け!」と教えました。残念ながら今の日本の若者で、大きな夢をもって生きている人は少ないと思います。

そうした中、外国からやってきた青年が大きな夢を持ち、懸命に努力している姿に触れ、家内ともども感動しました。同居している子どもたちや孫たちにも、さわやかな印象を残してくれました。近所の方で中国語を勉強したり、中国に行ったことがある人とも会ってもらい、よき時を持ちました。

私たち夫婦は外国で暮らした経験があり、異文化体験ということは、お互いにとって素晴らしい経験だと思います。相手を知るだけでなく、日本や日本人を見つめ直すよい機会になります。

感謝なことに、ホームステイをした青年との交流は今後も続きそうです。今度、彼の誕生パーティに招かれており、とても楽しみです。外国にきて、週何十時間というアルバイトをしながら、自分の夢を叶えるために一生懸命生きている姿を見、これからも応援していきたいと思います。今回こうした企画に参加できたことに感謝し、これからも活用したいと願っています。

「モンゴルからの留学生」

町屋 恵子

私は、二人の子どもがホームステイをさせていただいた経験があることから、いつか恩返しができるばと思っていました。市報に「ホームステイ受け入れ家庭募集」の欄を見て、言葉の不安があるものの一泊ならできそうと思い応募しました。

なんと来てくださるのは思いもかけずモンゴルの女性とわかり、さっそく地球儀でモンゴルの位置を確かめて、図書館でモンゴルの本を借りてきました。しかし、不安もなんのその、モンゴル人のザヤさんは、かわいらしくて、とても日本語が上手でモンゴルの話をいろいろ聞かせてくれました。私もせっかくの二日間、お互い楽しく有意義に過ごせればと、思いつくまま質問し、その度に笑顔で明るく話をしてくれました。

私は、ザヤさんがまだ行ったことのない所へ連れて行きたくて、まずは新潟を見下ろせる朱鷺メッセの展望台へ。次は、我が家から近い佐潟湖のハーブランドシーズンでひと休み。そして我が家に到着。家族の一員であるミニチュアダックスのハッピーは、慣れない人には吠えるので心配していたのですが、ザヤさんには吠えることもなく、何故かすぐ仲良しになってびっくり。(モンゴルでは乗馬をすることので懐かしい匂いがしたのかも・・・)

ザヤさんは、まだ滞在が短い中にもすでに様々な場所に出かけ、これからの計画もあり、留学生生活を謳歌していることに感心しました。日本の温泉にも何度か行かれ、好きとのことなので、メイワサンピアのトロン温泉に誘ってさっぱり。夕食には私の家族もそろって、にぎやかにテーブルを囲みました。暑くてエアコンも効かない中、お好み焼きでさらに熱くなり、食べて飲んだ後は公園で花火をし、私達も楽しいひと時を過ごすことができました。

翌日、角田岬灯台に登ると年に一度の内部の一般開放をしており、灯台のてっぺんからモンゴルにはない雄大な海を見下ろすことができました。シーサイドラインの途中にあるSOWA美術館に立ち寄り、お昼は寺泊の魚市場を見学して焼き魚定食を賞味。岩室のおいしいジェラードを食べてから内野駅までザヤさんを送り、二日間のホームステイを終えました。

私もいつか雄大なモンゴルへ行って見たい。世界が身近に感じられる良い経験をさせていただきました。それにしても流暢な日本語に、どうやったらあんなに上手く外国語が話せるようになるのか、英語もほとんど話せない私はとてもうらやましい。また機会があったら、楽しいお話を聞かせてくださいね。

